

高温多湿・気密性の高い住宅に合った素材で サスティナブルな畳を



新しい織機で実現した牡丹唐草文様
日本の伝統的な文様を生かしました

事業 概要

平成29年度
補正

日本初!デザイン畳のハイブランドとして、 生産～販売一貫体制に挑戦

アレルギー予防の高性能とデザイン性で大手競合他社と差別化した畳ブランドとなった弊社は、畳原系生産から畳表製織生産まで行い、デザイン製作、現場施工体制を整え、ユーザーの求める高品質保証とデザインバリエーションの充実を図る体制を整えた。日本初!生産～販売一貫体制のデザイン畳ブランドメーカーとして全国への拡販を目指すことが可能となった。

現代の日本の住宅にマッチし 健康を守る新しい畳を

畳製造工場を経営していた先代が早くに亡くなり会社を継いだ高橋代表は、工場に入ったことでい草の農薬アレルギーを発症しました。湿度の高い日本の高気密住宅において、い草はミスマッチであるにもかかわらず、畳は住宅の進化から取り残されていました。「住む人の健康を考えた新しい素材と、これまでのような大量販売ではなく少量多品種生産の畳で経営していくべきだと考えました」と高橋代表。そこから人工畳「おり座」が誕生しました。畳系はポリプロピレン素材で、水分を吸収しない特許商品

であり、敷いたままで除菌や水洗いも出来るので、ダニやカビなどのアレルギーも予防してくれます。



模様と畳の形で様々なデザインが生まれる

デザインの力で サスティナブルな商品を開発

「おり座」はメーカーの原糸を使用し、様々なデザインやニーズを捉えた商品づくりをしていましたが、メーカーがその事業を止めたことに伴い、2018年に畳製糸機械設備・製織機械設備を譲り受け、素材から畳の製造・販売を行う畳メーカーになりました。ものづくり補助金で電子ジャガード式織込織機と図版を購入したことにより、さらに特殊な織りが出来るようになりました。特にこの機械で実現した「絡み織り」は凹凸がたくさん付いたデザインで、経年劣化で原糸につく細かいキズが目立ちません。「デザインでブランドを強化し、いかに長く使えるものにするかを考えました」と高橋代表。



人気の「絡み織り」は凹凸が多くキズが目立ちにくいため、長く美しい状態が保てる



色やデザイン見本からオーダーメイドの1枚を



和室・洋室どちらにも馴染むデザイン



補助金で導入した電子ジャガード式織込織機



多彩なテクスチャーデザインの畳を
織り上げる

子どもやお年寄りの暮らしに優しく 再利用可能な商品を

クッション材が通常の畳の2倍入っている「おり座」は柔らかく、保育園や老人介護施設、また高級リゾートホテルの和室などにも採用されています。様々な色や織り、そして形でお客様のニーズに合った製品を提供しています。「おり座」の寿命はフローリングとほぼ同じ20年。今後は畳替えの時にそれを引き取り、パレットに戻して商品化することを考えています。更に、「ランチョンマットやバスマットなど、廃材で作ったアップサイクル商品を作っていこうと思っています」。時代が求める持続可能なものづくりを——先駆者としての矜持が新しい発想を生み出します。

会社の強みは何ですか？

製造方法がすべて特許に基づいた独自のものです。独自の部屋の採寸方法から、どんなに変型の部屋でもフレキシブルに畳を施工出来る技術があります。少数精鋭でお客様のニーズに合った商品をご提供しています。

どのような使い方が人気ですか？

最近はフローリングのリビングの一角に、完全に埋め込むタイプが多いです。私どももいかに洋室の雰囲気に溶け込ませるかをテーマにデザインしています。私の理想は、多色使いと機械文様でどう自然素材に近く見せるかです。

株式会社オリザ 代表取締役 高橋 美恵 氏



ショールーム&事務所